

2019年1月25日

新時代 「格付け」で確かめ合う情報の安心・安全！

～アウトソーシング、BPO、クラウド、AI、IoTで求められる情報管理の信頼性を示す新指標～

株式会社アイ・エス・レーティング（本社：東京都中央区）は、2008年に情報セキュリティ格付け事業を開始してから10年を経て、500以上の評価をさせていただきました。その中で、AAA、AAの極めて高い評価を取得したのは以下の組織・サービスです。



- ・富士通 /館林・明石の各データセンター(システム運用管理業務)
- ・富士通エフ・アイ・ピー /横浜・中部・九州の各データセンター(システム運用管理業務)
- ・富士通エフサス /東京LCMサービスセンター（システム利用等に伴う問い合わせ対応業務）
- ・富士ゼロックス /スマートワークリノベーション事業本部マイナンバーBPOサービス
- ・三谷産業 /アウトソーシングサービス(ハウジング、ホスティング、運用支援業務等)
- ・凸版印刷 /ギフトカードASPサービスにおける顧客及び残高管理業務
- ・大日本印刷 /蕨工場における情報処理サービスに関する設計・開発及び製造
- ・野村総合研究所 /横浜第二データセンターにおけるデータセンター運用業務
- ・NRIセキュアテクノロジーズ /クリプト便サービス運用業務
- ・パナソニック /コーポレート情報システム社/データセンターのシステム基盤構築・運用関連業務
- ・パナソニックシステムソリューションズジャパン /新横浜拠点での官公庁からの受託業務における導入・保守の各業務
- ・藤沢市 /IT推進課における基幹システム業務

[敬称略、順不同]

- 高水準の格付けは、極めて高いレベルで情報セキュリティの対策を実施していることを意味します。
- 技術的、人的、組織的に充実した取組みを格付委員会で公正・中立に評価した結果です。
- 情報管理の重要性が増すなか、高格付けが取引先・委託元、ひいては一般消費者の信頼獲得につながります。

●お問い合わせ先 株式会社アイ・エス・レーティング

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-10-2 第20ビル 8階

TEL: 03-3273-8830 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されていません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

○格付定義の補足説明

AAA _{is}	(要件1)新たな脅威に迅速に対応し、常時、高水準の管理状態を維持、発展させている。 (要件2)常時、リスクをモニタリングし、即時に柔軟な対応ができる。
AA _{is}	(要件1)継続的な改善プロセスを有し、高水準の管理状態を維持、発展させている。 (要件2)悪意のある内部者に対する管理策(発見的、抑止的、予防・防止的管理策)を織り込んでいる。
A _{is}	(要件1)検証したプロセスを用いて、目標を指標化したうえで管理、実行している。 (要件2)悪意のある外部者に対する管理策(発見的、抑止的、予防・防止的管理策)を織り込んでいる。
BBB _{is}	(要件1)明確に定義した手順書等に基づき、組織的に管理、実行している。 (要件2)一定の予防・防止的管理策(前もって防ぐこと)を織り込んでいる。
BB _{is}	(要件1)手順書等は整っていないが、一定水準の管理をしている。 (要件2)一定の抑止的管理策(行動を思いとどまらせること)および発見的管理策を織り込んでいる。
B _{is}	(要件1)特定の人員に依存して、非公式な管理をしている。 (要件2)発見的管理策(事故の発生を発見できること)等の対策が不十分である。
C _{is}	(要件1)プロセスが確立しておらず、管理が不十分である。 (要件2)対策が講じておらず、絶えず脅威にさらされている。

○弊社に寄せられているお客様からの声

- 世間水準と比較してどのレベルなのか、格付けを取得して確認したい。
- 個人情報、医療情報、マイナンバー等が漏えいすると刑事罰へつながりかねない。罰則が法律に規定されたので、この機会に現在の対策を総点検したい。
- 内部の悪意者への対策が十分か、第三者から中立公平な立場で指摘して欲しい。
- 企業及び取締役の法的責任として、会社法で求められている善管注意義務をまっとうするために、必要な点検を第三者の視点で格付けして欲しい。
- マイナンバーの客観的な第三者点検として格付等の報告書を活用することで、住民等への説明責任を果たしたい。
- 匿名加工情報(適正な加工、加工方法自体の安全管理、再識別は禁止等)に関する第三者証明書を発行して、情報を提供した方々とのリスクコミュニケーションの向上を図りたい。
- 充実したセキュリティ対策により、当局への報告に加え、ビジネス拡大に向けて安心安全のアピールをしたい。

●お問い合わせ先 株式会社アイ・エス・レーティング

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-10-2 第20ビル 8階

TEL: 03-3273-8830 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されていません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

○これまでの取組み事例

- 重要情報を扱うデータセンター、コールセンター、委託業務先、ASP サービス、印刷業務等は、仮想通貨交換所、匿名加工情報の取扱業務を格付けして、情報セキュリティ対策を“見える化”します。安心・安全への取組みにより取引先の信頼を獲得し、製品やサービスの差別化により企業価値の向上に貢献します。
- 入札の条件に格付けなど第三者による評価が求められています。弊社の格付けなどが入札条件に適合して新規受注に結び付き、経営会議等でも話題になって喜んでいただいた事例が増えています。また、弊社の評価はセールスツールとして活用でき、営業マンがお客様から信頼を勝ち取る一つのきっかけとなっています。
- 個人情報やマイナンバーだけでなく重要な技術情報においても、これまで漏えい事故の根本原因といえる内部不正への対策や委託先管理、そしてサイバー攻撃への対策の観点から格付けで業務を総点検します。安全管理措置への取組み状況を示すうえで、客観的な取組み水準を「格付け証明書」で示すとともに、報告書にレーダーチャート等を用いて「安全管理措置の全般的な取組み水準」や「物理的・技術的安全管理措置の取組み水準」の強みや弱みが明確に分かる報告書を提示しています。

○格付想定水準

保有する情報資産の重要度に応じて、求められる格付水準が異なります。

<http://www.israting.com/rating/level.html>

○会社紹介

弊社は、経済産業省の「産業構造審議会情報セキュリティ基本問題委員会」での検討等を受け、民間の格付機関として 2008 年に設立。賛同する多種業界 25 社の出資による中立性の高い第三者評価の機関です。お客様が安心して重要情報を託せるよう、新たな信頼の形「格付け」で会社・団体を応援しています。

＜お問い合わせ先＞

株式会社アイ・エス・レーティング

企画部

tel.03-3273-8830

e-mail : ISR@israting.com

以上

●お問い合わせ先 株式会社アイ・エス・レーティング

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-10-2 第 20 ビル 8 階

TEL: 03-3273-8830 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されていません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。